

～学びと育ちの連続性～

# 浦幌小中一貫CS便り

平成28年12月22日 (N0.84)

浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所



# 「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」



実践発表(北広島町、福岡県宇美町)



パネルディスカッション

コミュニティ・スクールと運動し、学校と地域が一体となって取り組むまちづくり  
(北海道浦幌町 教育委員会)

【これまでの経緯】  
○平成19年より、子供たちが夢と希望を抱けるまちを目指して、町役場、町教委、農協、商工会、森林組合、弘道等で構成した「うらほろスタイル推進地域協議会」を設立し「うらほろスタイル教育プロジェクト」をスタート。  
○平成24年度から小中一貫教育の研究を開始、義務教育9年間を見通した視点で連続性と系統性をもちた教育活動を展開。  
○平成27年度からは、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を開始し、地域ぐるみでの教育活動を展開。

「町ぐるみ」で持続可能な地域社会の実現を目指してスタート

コミュニティ・スクールと運動し「まちひとしごとづくり」

- ・地域への児童を育行事業
- ・農・つなごが体験学習
- ・子どもがのびる環境づくり
- ・若者の仕事創出事業


「まちなか農園プロジェクト」  
×  
「商品開発プロジェクト」

社会への参画



教職員、地域の方々、保護者が「共通」を産出してビジョンを共有しています。

## 子どもたちがどう育てほしいか



子どもたちがどう育てほしいか

- ・「町ぐるみ」で持続可能な地域社会の実現を目指してスタート
- ・コミュニティ・スクールと運動し「まちひとしごとづくり」
- ・地域への児童を育行事業
- ・農・つなごが体験学習
- ・子どもがのびる環境づくり
- ・若者の仕事創出事業
- ・「まちなか農園プロジェクト」 × 「商品開発プロジェクト」
- ・社会への参画

文部科学省の資料で紹介された浦幌町の実践

■10月21日、札幌市において文部科学省主催の「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」が開催されました。

浦幌町からは久門教育長、松橋校長、川田教頭、佐藤次長補佐が出席し、600名を超える教育関係者とともにCS導入の意義と実践等について学びました。

### ■実践発表

- ①学校・家庭・地域が同じ目標やビジョンを持ち、一体となって取り組むこと。
- ②学校・家庭・地域それぞれが役割を自覚し、当事者意識を持てる組織づくりを工夫すること。
- ③CSの取組によって地域全体が教育に関わり、人づくりやまちづくりの活性化に繋がっていくこと。

### ■パネルディスカッション

○竹中貢上士幌町長、黒瀬忠行 CS マイスター、中田美知子北海道 CS アドバイザー

- ①地域が一丸となった学校づくりは、次代を担う子供たちの育成、地域づくりや地方創生の実現に繋がる。
- ②CSの取組は、学校と地域が子育てビジョンを共有することから始まる。地域住民が学校運営に参加することにより、地域とともにある学校づくりが進み、人づくりやまちづくりを促す重要なツールとなる。
- ③CSを北海道全体に広げるために、CSの意義を理解し、ビジョンを持ったリーダーとして発信していく。